



艶やかなブルーとクロムのコントラストが絶妙な一台。

CUSTOM FRONT LINE

'01 XL1200C

text&photo/K.Matsumoto マツモトカズオ
取材協力/DEFI motorcycle TEL0972-46-0509 <https://www.defi-mc.com>

クロムを意味する“C”がモデル名に入る1200C。その名が示す通りのクロムメッキ仕様のエンジンと、同じくクロムのスプリンガーフォークが美しい輝きを放つチョッパー。手がけたのは大分県佐伯市にある「デフィ・モーターサイクル」だ。「ナローなスポーツチョッ

パーがコンセプトでした」と話すビルダー濱野さん。その言葉通り、純正タンクを長さはそのままに幅詰め加工を行い、またハンドルもステンレスでワンオフ製作するなど、多彩なメタルワークでコンセプト通りの一台に仕立て上げた。何とも華やかで、煌びやかなマシンである。



BUILDER
濱野洋平さん



W&W製の74スプリンガーに、ブレーキはグリメカ製をチョイス。ホイールはF21、R16のチョッパー定番セットアップ



パイプはシンプルなターンアウトをチョイス。フォワコンはミッドの車両とスワップしてミッド化している。

ブルーの外装色に合わせて、ワンオフシートもブルーで統一している。テールランプはデュオテール

純正タンクのアールは残しつつ、ナロー化を行ったタンク。合わせて製作されたステンレスのハンドルも細身に仕上げている



スポーツスターSの“気になる部分”を解消!!

CUSTOM FRONT LINE

'22 RH1250S

text/T.Amemiya 雨宮武 photo/S.Ise 伊勢恒
取材協力/トライジャ TEL072-970-3110 <https://trijya.com>

これまでに数多くハーレーカスタムを手がけてきた「トライジャ」だが、現在【合法であること】と、【ボルトオン装着できること】、そして【乗りやすくなること】をコンセプトに“スポーツスターS”用のカスタムパーツをぞくぞくとリリース中だ。それを装着した車両がこ

こで紹介する一台。これらのパーツは実際のユーザーに不満点を聞き出し、それを解消するために誕生したものばかり。それだけにコレは!!と感じるユーザーも少なくないはず。もちろんほかにも開発中なので、気になる人はトライジャのホームページを欠かさずチェックすべし!



BUILDER
岡本佳之さん



個性的なSのライトに馴染めない人のために、従来のボトムマウント型ライトを取り付けできるステーをリリース

純正バーエンドミラーから通常のミラーに変更した際に有効な部品。あしらわれているストーンの色は数種類あり

個性的なデザインの“般若バー”だが、グリップ位置が純正より手前になるため、腕にゆとりができて乗りやすい

ノーマルの大きく野暮ったいナンバーマウントステーをコンパクトにできる部品。リアビューがスッキリまとまる